



JAL 社会連携講座

実務家教員派遣のご案内

航空運送事業を通じて培ったエアラインビジネスのノウハウ、
実務経験に基づくサービスやホスピタリティの基礎知識を学び、
理解を深めることを目的とした連携講座です。



JAPAN AIRLINES / JAL AVIOFUTURE LAB

概要

単位科目、課外講座いずれも豊富な導入実績があります。
講義回数や内容は柔軟に対応いたします。(短期集中講座等)

ホスピタリティマネジメント

回数

14～15コマ（100分または90分）



内容

ホスピタリティやサービスの基本知識に加え、エアラインやホテル、テーマパークなどのケーススタディを通じて、顧客、従業員、経営者の視点から「ホスピタリティマネジメント」を多角的に学びます。社会の多様な変化に対応するホスピタリティの役割を理解し、講師の実務経験に基づく講義やグループワークを通じて、観光産業をはじめ、さまざまな分野で求められる実践的視野を習得する機会を提供します。

エアラインビジネス

回数

14～15コマ（100分または90分）



内容

世界の人流・物流を担うエアラインビジネスは、アフターコロナの世界でさらなる変革を迎えています。SDGs達成や地域活性化など、社会課題解決のためにエアラインの果たす役割を学び、企業の社会的な役割について考察します。

課題解決型学習（Project-Based-Learning）

回数・時間・テーマ

ご要望に応じて設定



内容例

テーマ「航空会社におけるSDGsへの取り組み」の場合

1. 課題提示

SDGsに関する概要と航空会社の取り組みを説明し、チームごとに取り組むテーマを提示します。

2. チーム活動

テーマに基づき、チームで調査・議論し解決策を検討します。

3. 発表

各チームより発表を行い、講師からフィードバックを提供します。

テーマ例

- SDGsとグローバルリスク
- ホスピタリティとテクノロジー
- 地域活性化
- ESG経営とDEI

*上記テーマに関する単発講座にも対応いたします。

講師

講義テーマに即した、当社現役社員（マネジメント経験者）

*写真は一部の講師を掲載しています。





PHOTOGRAPHY BY SACHIE ABIKO

JALならではの3つの特徴

JALグループが航空事業で培った知見や最新の情報を活かし、観光産業をはじめとする実社会への理解を深めるとともに、未来の人財を育成する講座です。

1 日本が世界に誇る強み

長年培ったグローバルレベルのホスピタリティや、エアラインビジネスの最前線を学べます。

2 経験豊富な講師陣

客室、国内外の支店や空港、企画部門など、多様な専門分野で経験を積んだ現役社員が講師を務めます。

3 カスタマイズ可能な講義

講義回数、内容は、ご要望に応じて柔軟に対応いたします。（リモートでの講義にも対応いたします。）

シラバス例

	ホスピタリティマネジメント	エアラインビジネス	課題解決型学習
1	オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション
2	ホスピタリティとは	世界と日本の航空事情	チームビルディングや分析手法についての講義（各校にて実施）
3	ケーススタディ① エアライン	航空産業の歴史	
4	ケーススタディ② ホテル	航空業界の現状と課題	
5	ケーススタディ③ 旅館	空港運営	
6	ケーススタディ④ テーマパーク	FSC（フルサービスキャリア）	
7	ケーススタディ⑤ 飲食業	LCC（ローコストキャリア）	講義①
8	ホスピタリティマネジメントとは	マーケティング	講義②・課題提示
9	ホスピタリティ リーダーシップと安全	安全とリスクマネジメント	グループワーク
10	ホスピタリティの実践	運航管理（運航管理者・運航乗務員）	中間発表・フィードバック
11	ESG経営とホスピタリティ	フロントラインの仕事（GS・CA・整備）	グループワーク
12	未来のホスピタリティ	貨物事業	最終発表・講評
13	グループワーク	サステナビリティとESG経営	振り返り
14	グループ発表	エアラインビジネスの今後	
15	まとめ	まとめ	

受講者の声

課題解決型学習

- JAL社員として新規事業を提案するというなかなか経験できない活動に全力で取り組むことができた。
- 企業からのフィードバックで、アイデア創出にとどまらず、現実レベルまで提案を深めることができた。
- 自分と違う視点を持つ人と意見を交換したり、企業視点で考えることで、大きく成長できた。

※原文のまま抜粋

ホスピタリティマネジメント

- ホスピタリティを学ぶという機会は今まであまりなかったのですがとても満足感のある講義でした。航空業界に限らず他の業界でも使えるようなことを学ぶことができたので興味を持って学習することができました。
- 講義で学んだことを、仲間と共にディスカッションで共有できる点や、多くの視点や立場に立って物事を考える力を身につけることができました。

エアラインビジネス

- 企業という範囲を超えて、航空業界全体の現状や課題、今後について幅広く学ぶことが多く、非常に興味深かったです。
- エアラインビジネスの全体～細かな事業内容・展望までを、包括的に学ぶことができ、非常に有意義な時間となった。



PHOTOGRAPHY BY SACHIE ABIKO

お問い合わせ

ご相談はメールにてお問い合わせください。
✉ jal-jisedai@jal.com

【JAL航空みらいラボ Webサイト】
<https://www.jalaviofuture.co.jp>



CARBON EMISSION
8.054 ▶ 6.974 kg CO₂
カーボンニュートラルな社会の実現を
目指し、この印刷物は、カーボンゼロ
プリント工場で印刷しています。
CZP-277453 (200copies)

